

地震と生きる
—大地は何を語るのか—

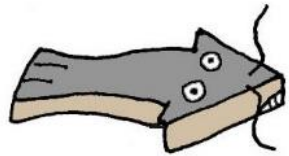
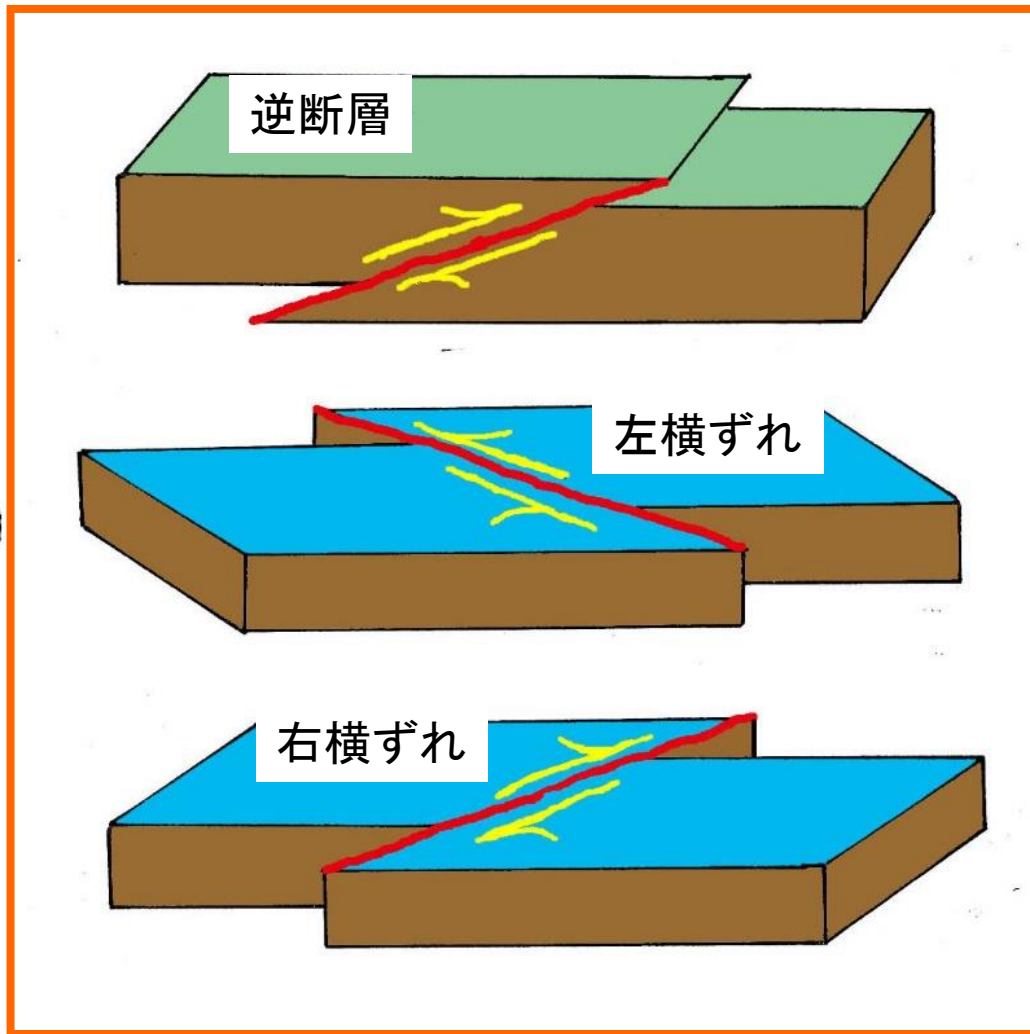
どうする秀吉

天正地震と慶長伏見地震

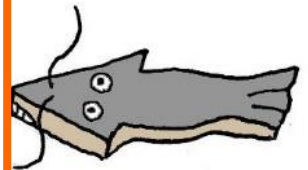
寒川 旭

2023年5月16日：大阪自由大学

活断層のタイプ分け



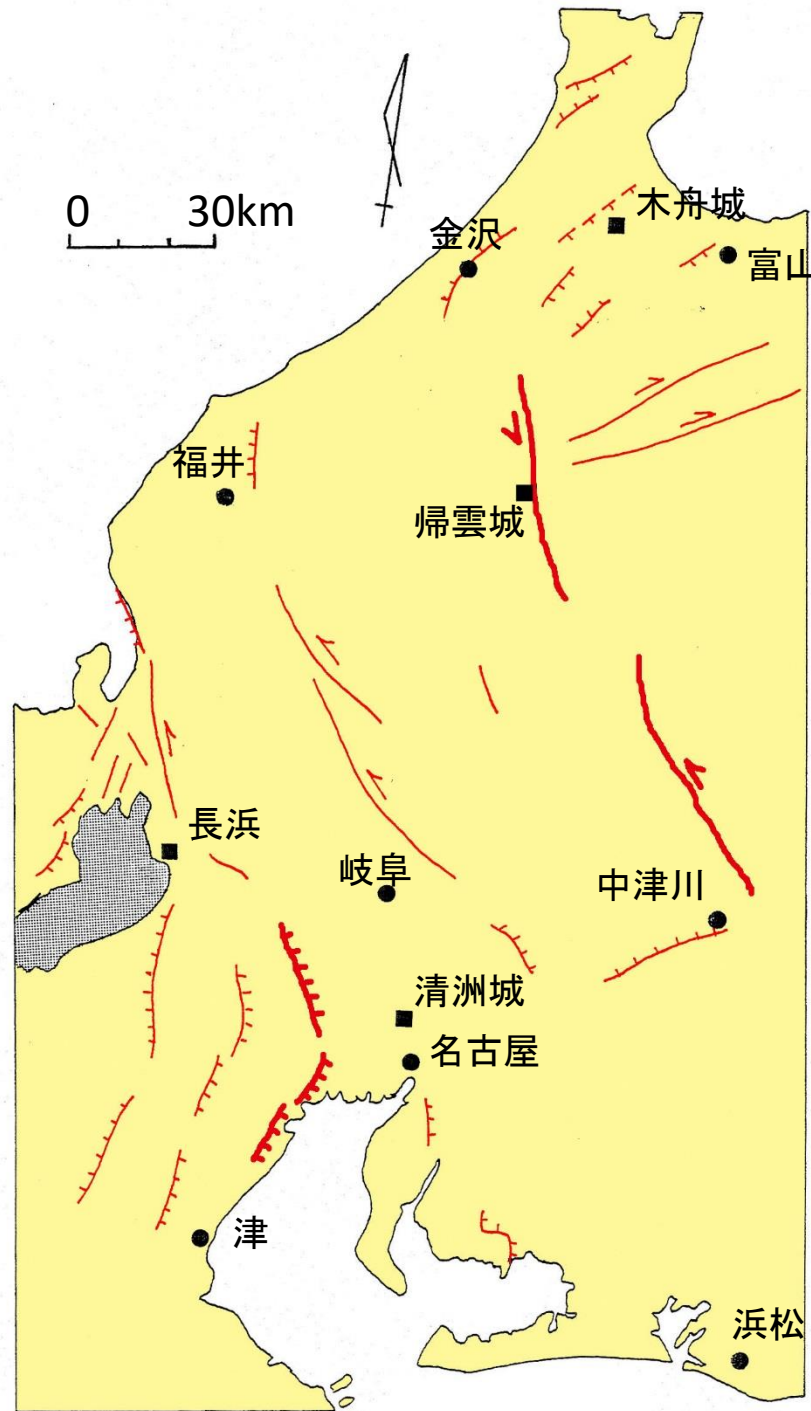
圧縮力



圧縮力

天正地震

養老・桑名・四日市断層帯



天正13年11月29日
1586年1月18日
午後10時過ぎ

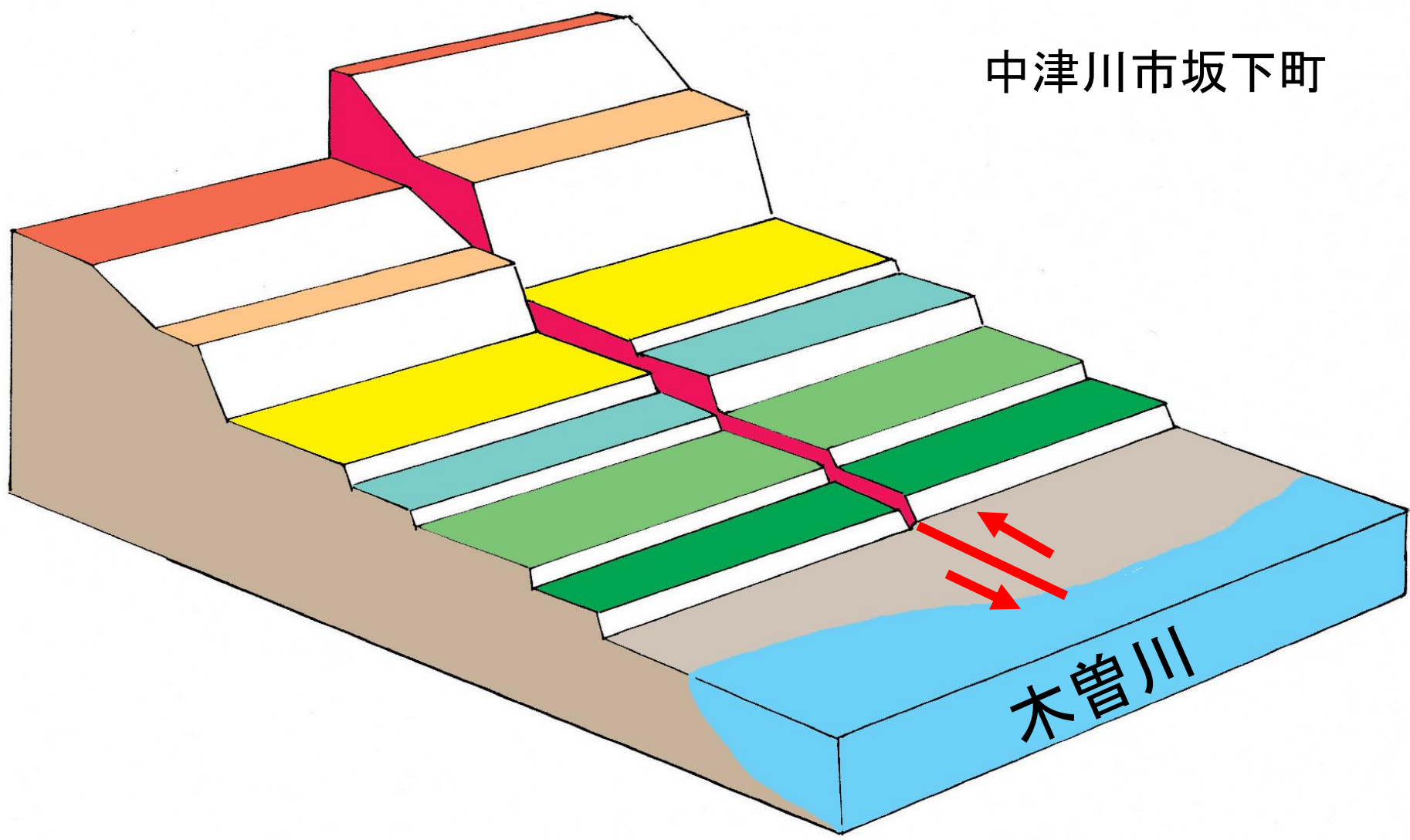
庄川断層帯

阿寺断層帯

三つの断層帯が連動した！

古い段丘ほど変位が大きい

中津川市坂下町



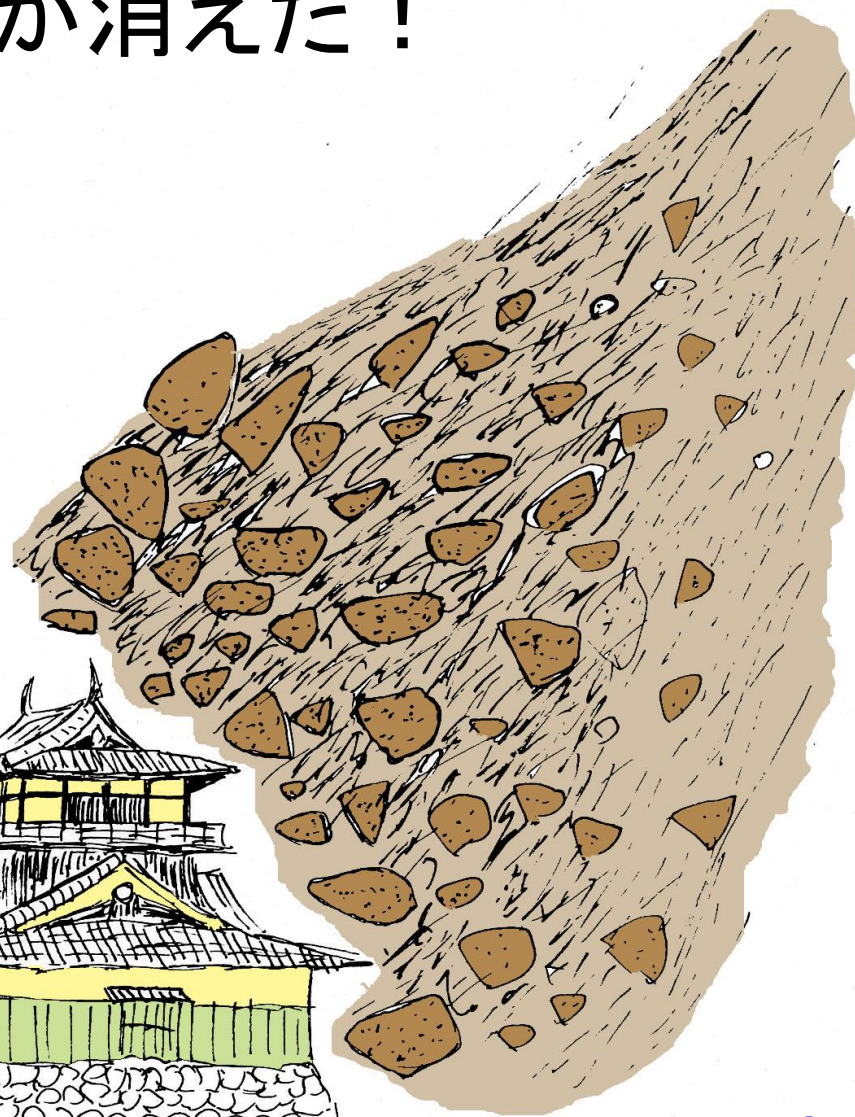
阿寺断層帯による河岸段丘の変位

「秀吉を襲った大地震」平凡社新書より



帰雲城を埋めた大崩壊

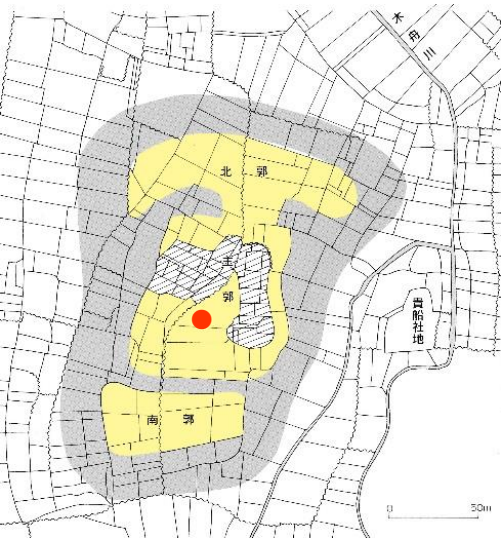
内ヶ嶋氏理の城が消えた！



白川郷の帰雲城

旭川寒画

前田利継(前田利家の末弟)が圧死



木舟城

城主が佐々から
前田に代わった
直後の地震



木舟城の地滑り跡(天正地震)

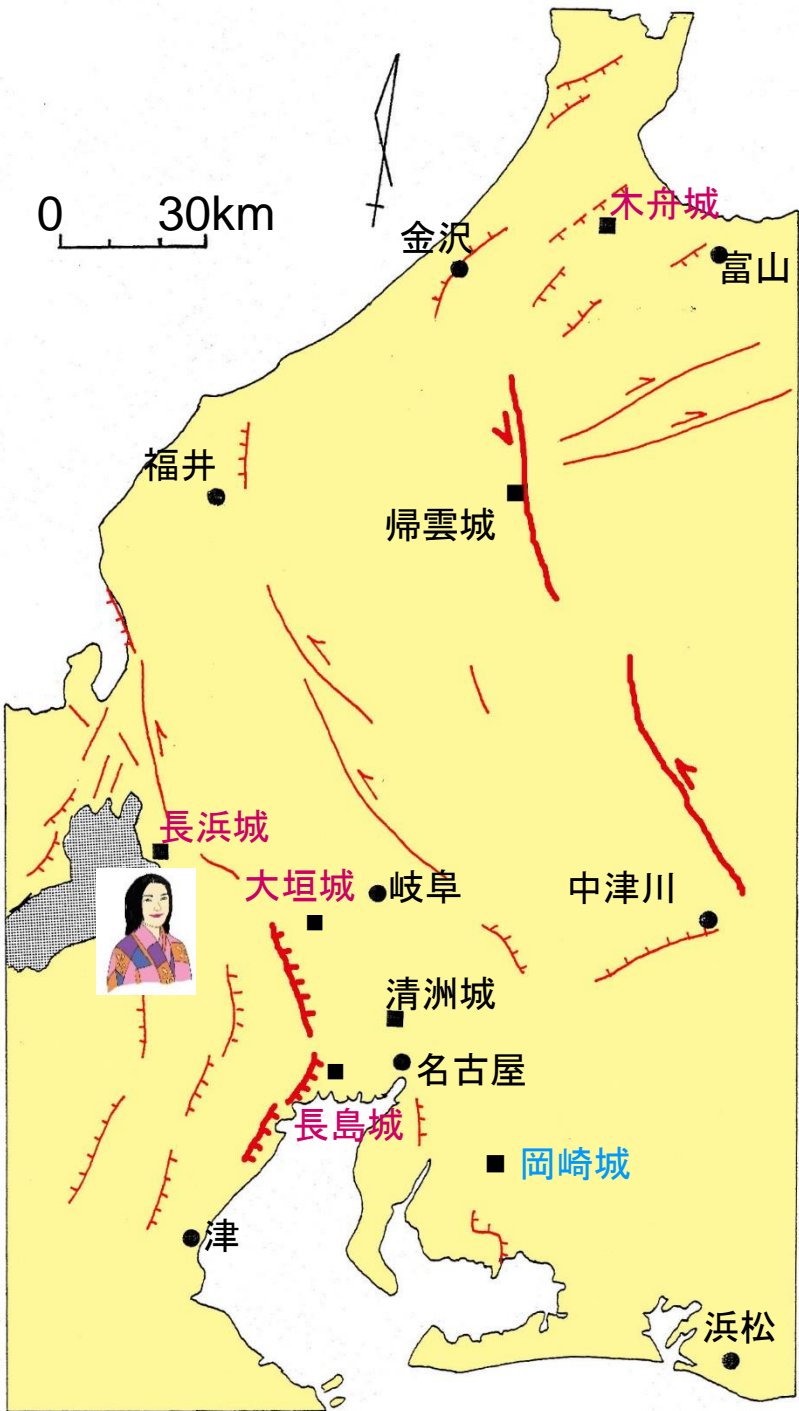


下村藤右衛門邸の遺物(1586年1月18日:天正地震)
2000年7月8・9日:長浜市でシンポジウム「近世城下町の諸相」

家康を救った天正地震

秀吉方の大垣城・長島城・長浜城は大被害

家康の岡崎城などは被害が少ない



小牧・長久手の戦
の後、家康を攻め
ようとした秀吉は
坂本城にいた！

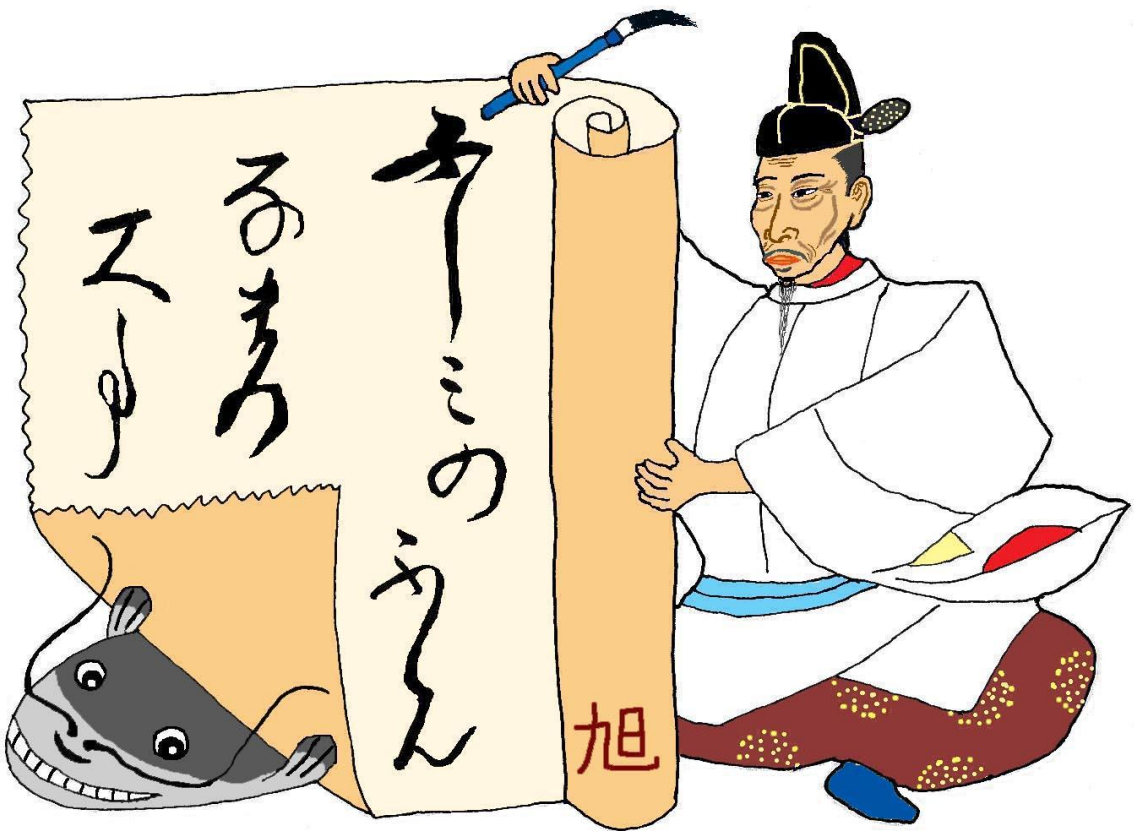


どうする
秀吉！

震度5強

秀吉が書いた手紙

一五九三年一月十三日



旭川寒画

伏見城の普請では、地震(ナマズ)
対策が大切だ！

慶長伏見地震

謹慎中の加藤清正→→→地震直後に駆けつける
→→→許される(明治に歌舞伎の増補桃山譚)

方広寺の大仏に矢を射かける

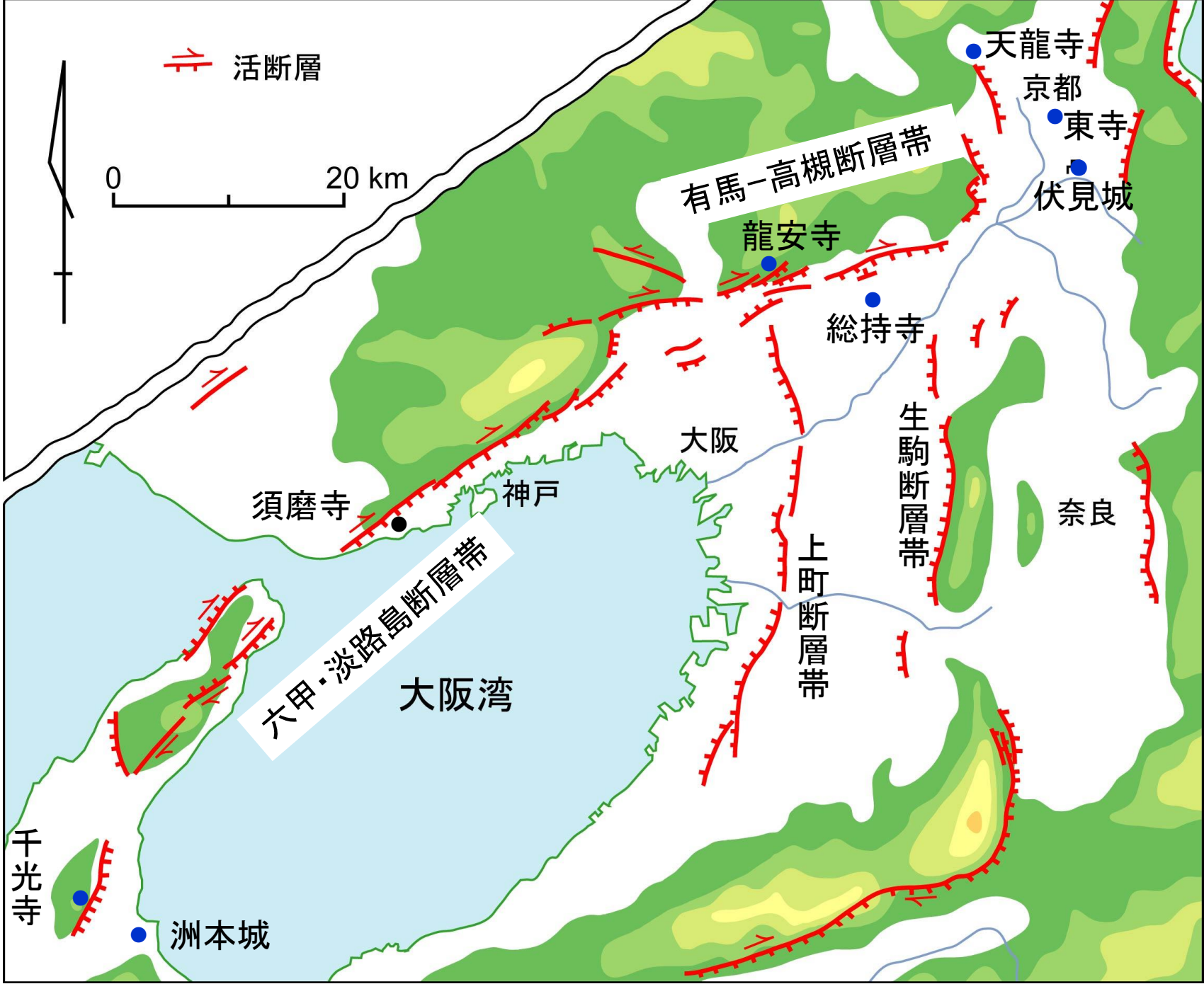
↓↓↓翌年、壊して、代役として善光寺如来



どうする秀吉!

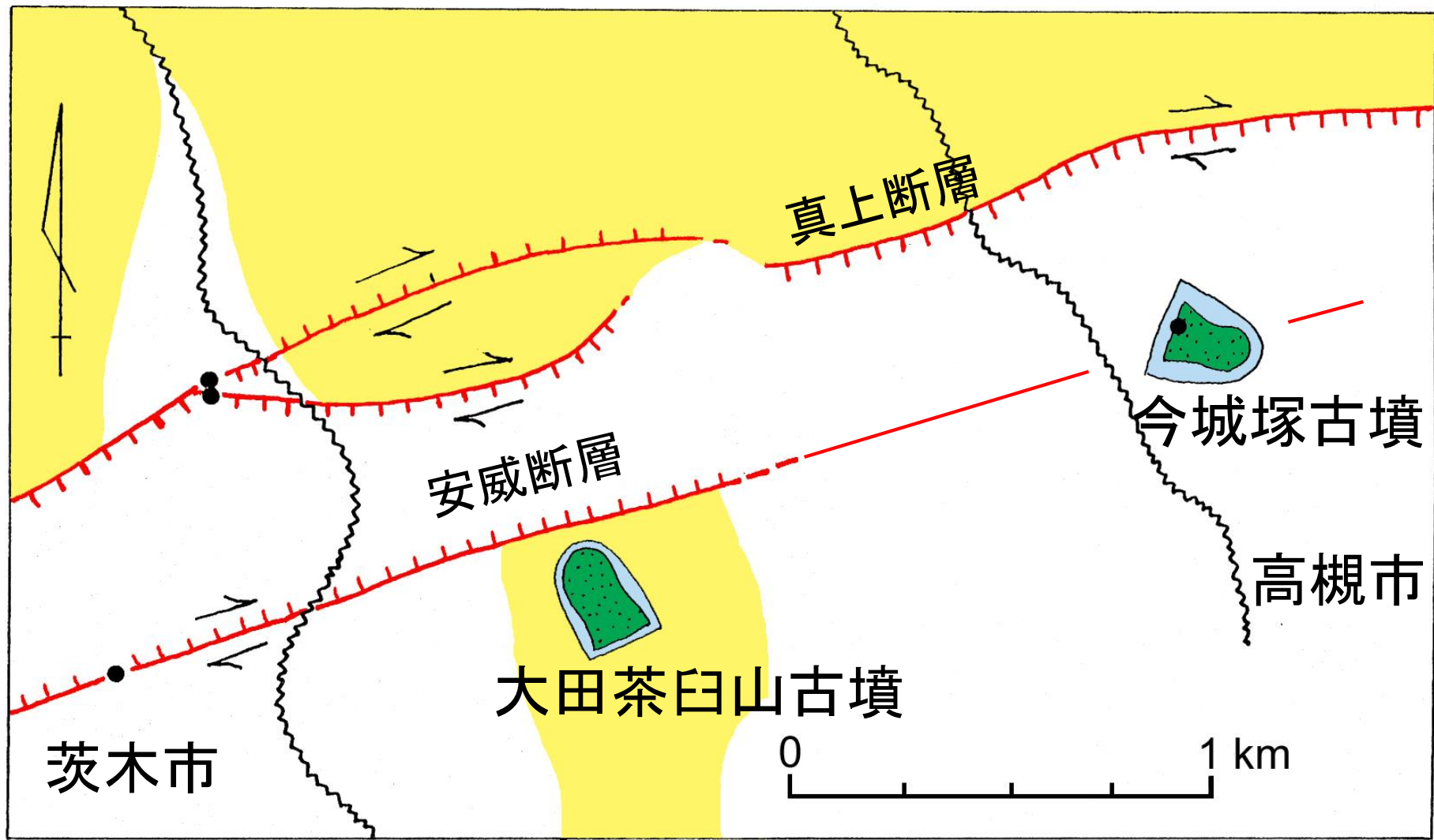
明の使者と会見予定の伏見城が倒壊
↓↓↓会場を大坂城に↓↓↓慶長の役

大被害：京都（伏見城・東寺・天龍寺・大覚寺）大阪（総持寺・瀧安寺）

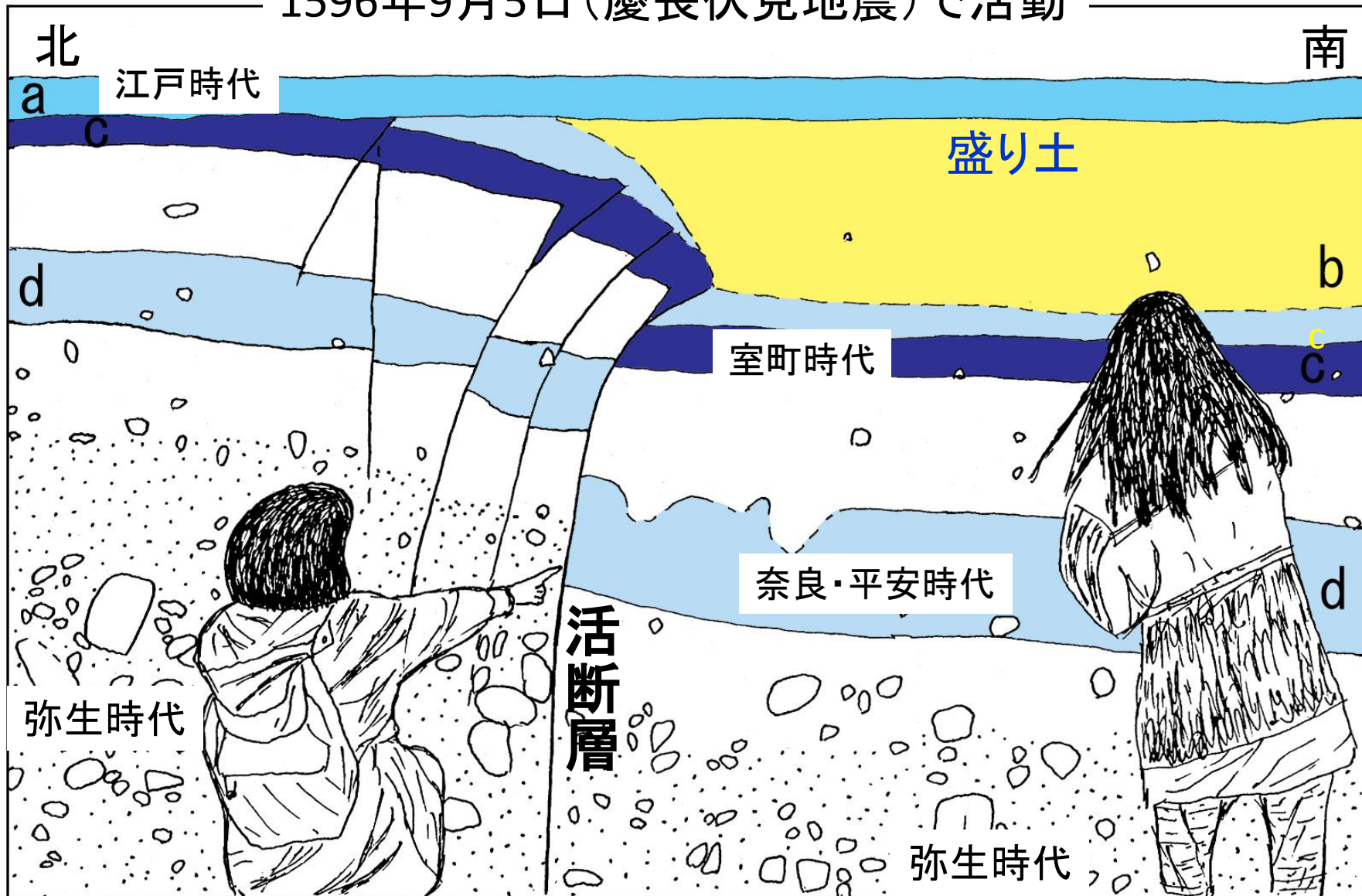


神戸（須磨寺）淡路島（千光寺・洲本城）

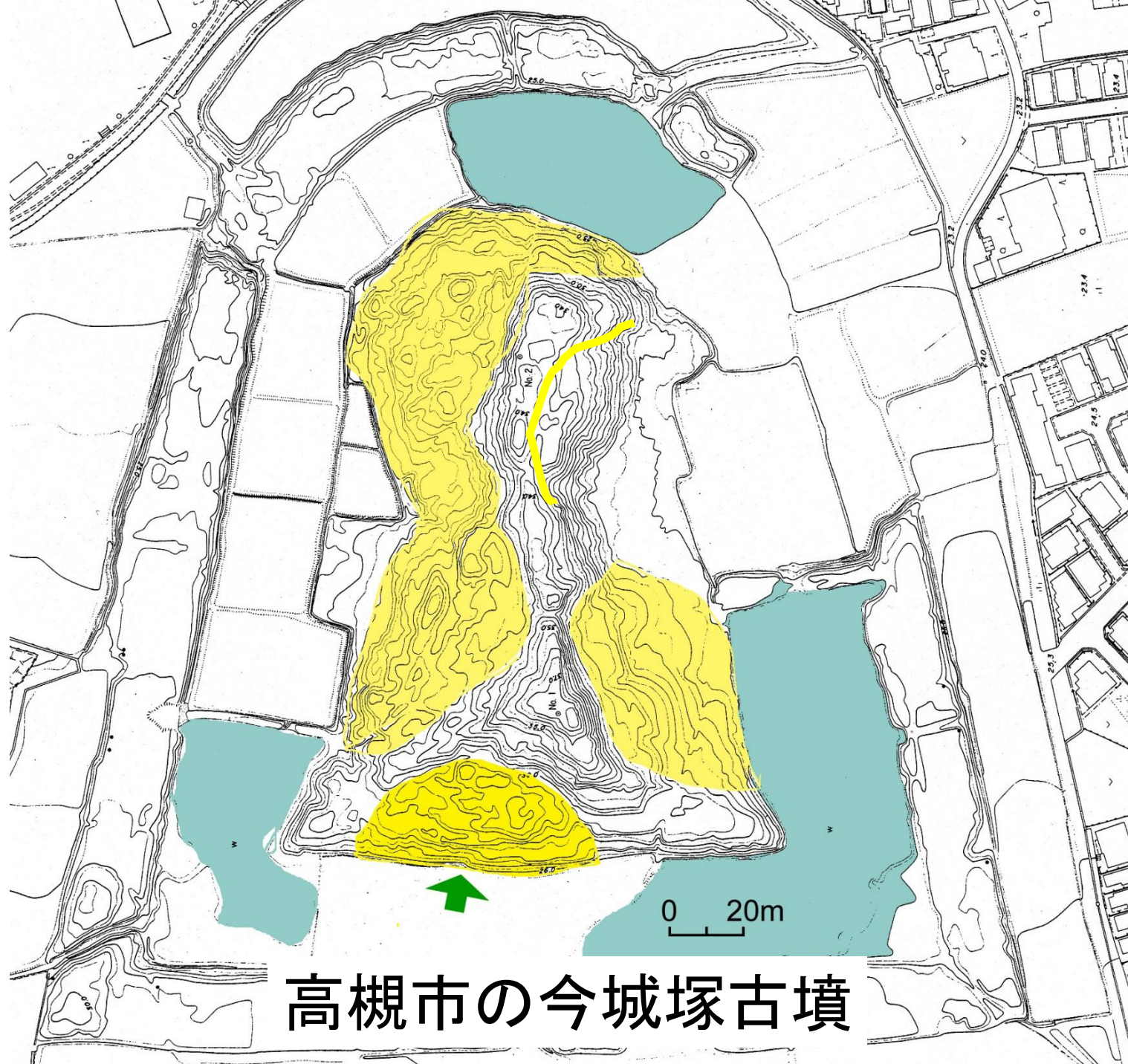
1596年慶長伏見地震で断層が活動



1596年9月5日(慶長伏見地震)で活動



有馬一高槻断層帯(真上断層)のトレンチ調査
「地震の日本史増補版」中公新書より



高槻市の今城塚古墳



墳丘

東

西

すべり面

濠

今城塚古墳の地すべり跡

崖(川岸)

An aerial photograph showing a construction site in a rural area. A prominent red line, representing a fault line, runs diagonally across the site. A yellow line traces the edge of a riverbank. The construction site is a rectangular area with several sections covered in blue tarps. To the left, there are palm trees and a paved area. The surrounding fields are mostly bare, suggesting a dormant season.

安威断層

4回の断層活動の痕跡

有馬-高槻断層帯(安威断層)トレンチ壁面



もう一つ前の活動は現在から2800年前頃
(有馬-高槻断層帯の活動間隔は2000~3000年)

1596年9月5日(慶長伏見地震)で活動



箕面市での坊島断層トレンチ調査

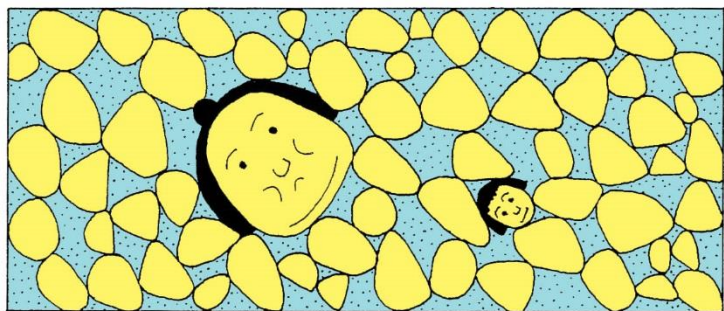
『地震考古学』
一九八八年に誕生



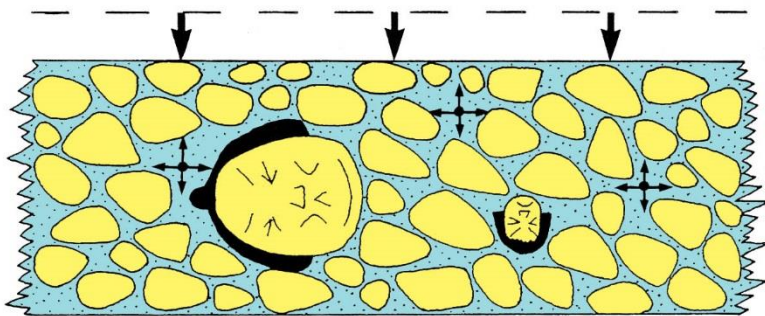
地震後の地層
— 地震
地震前の地層

遺跡で地震の年代がわかる！

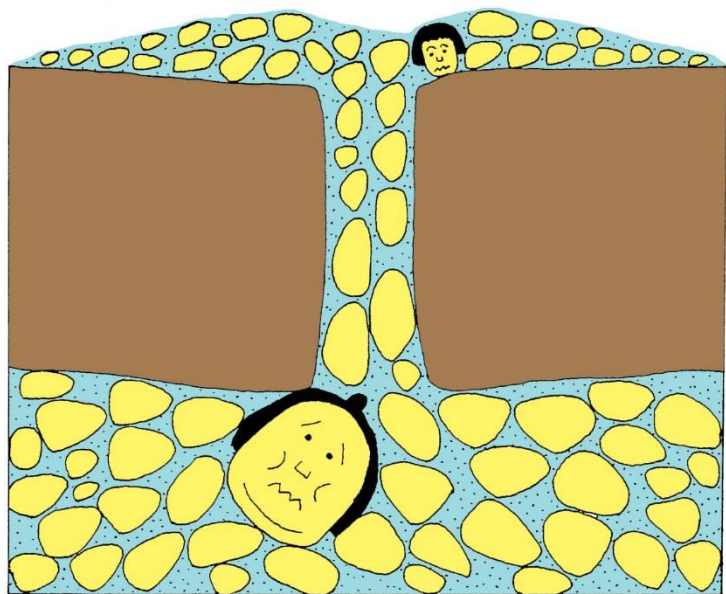
黄色いのは砂粒
水色は地下水です



地震の前



大地震発生
(水圧が上昇)



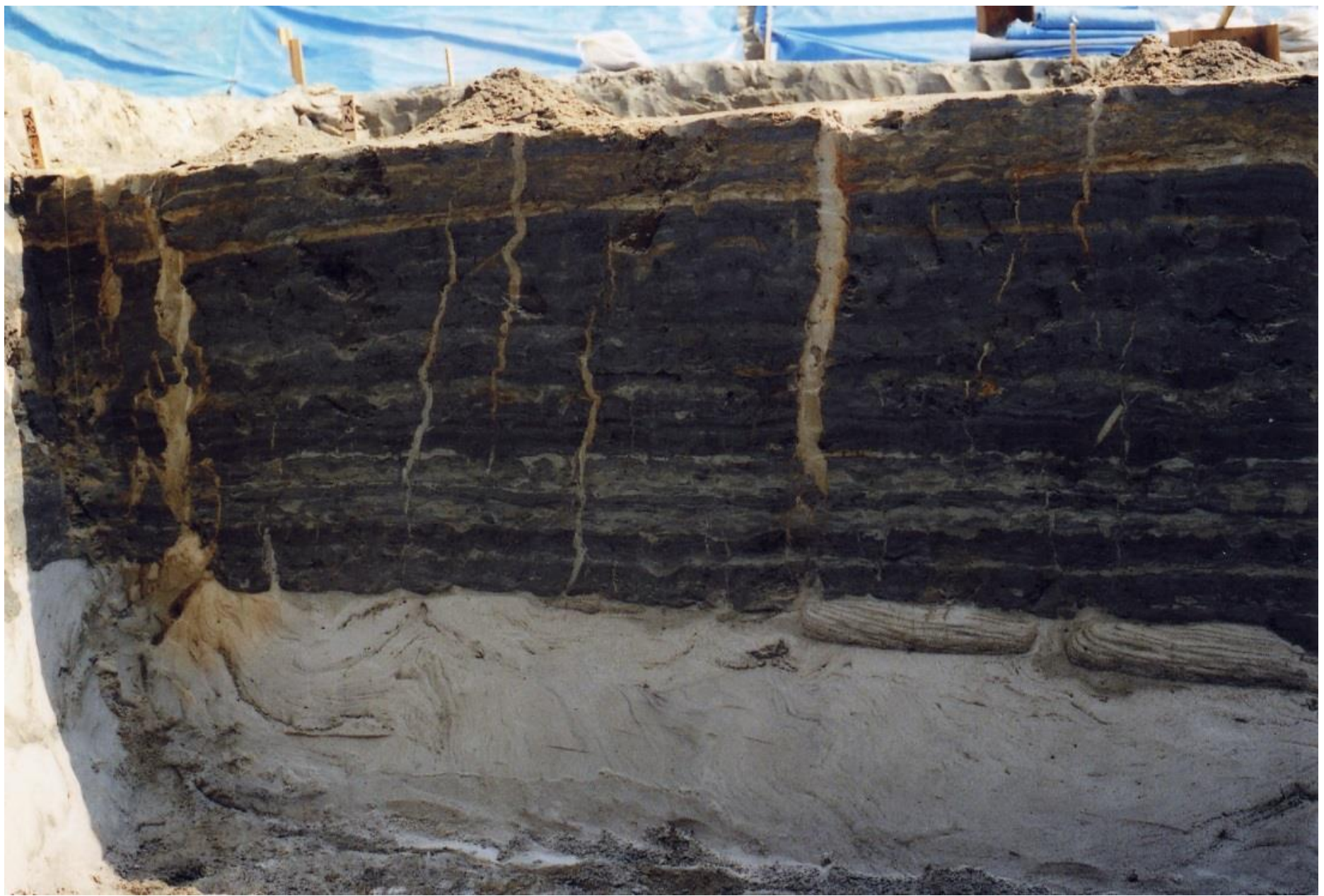
液状化現象で
噴砂が流れ出す

液状化現象はこうして起ります

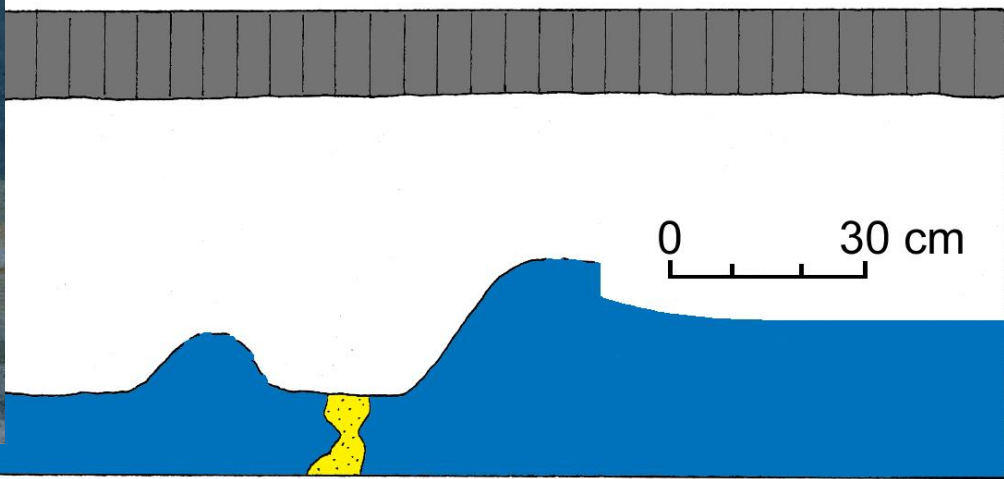
京都府八幡市内里八丁遺跡

慶長伏見地震の液状化跡

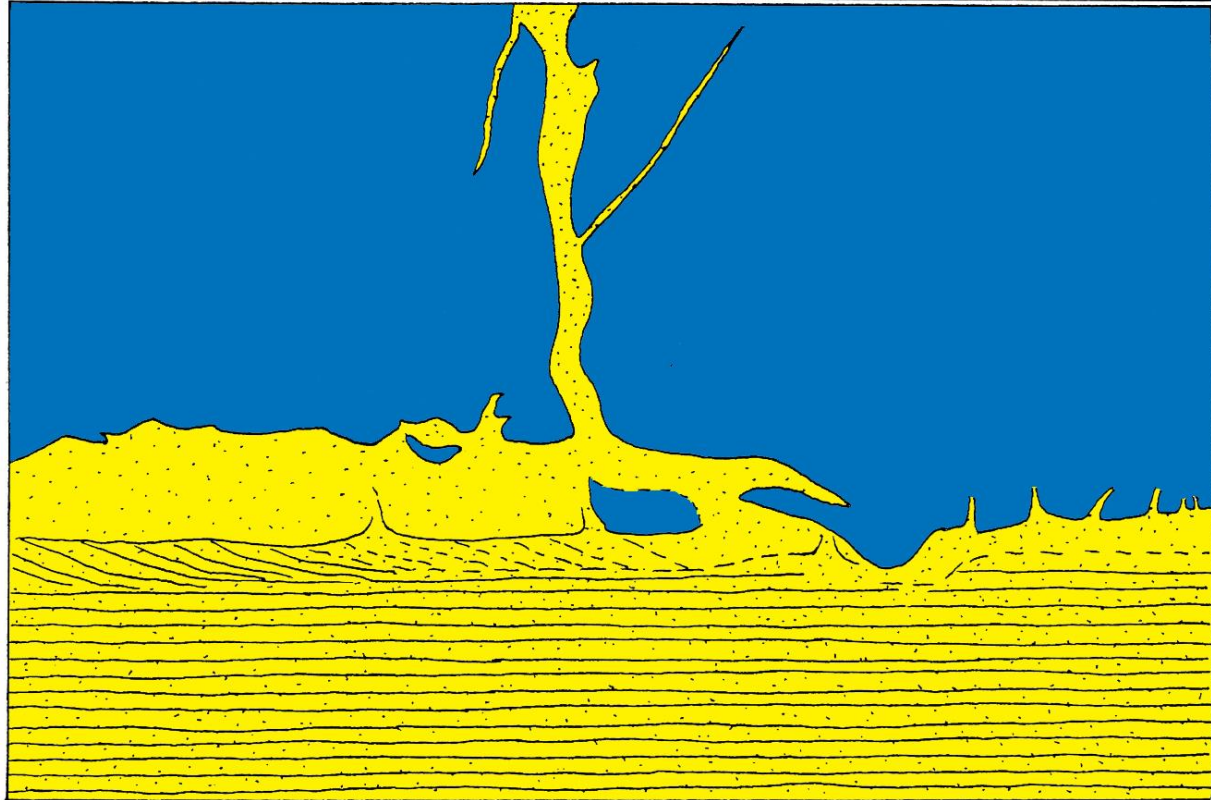




大阪市西鴻池遺跡(慶長伏見地震)



内里八丁遺跡の
液状化跡
(慶長伏見地震)





木津川河床遺跡における砂層の曲隆(慶長伏見地震)

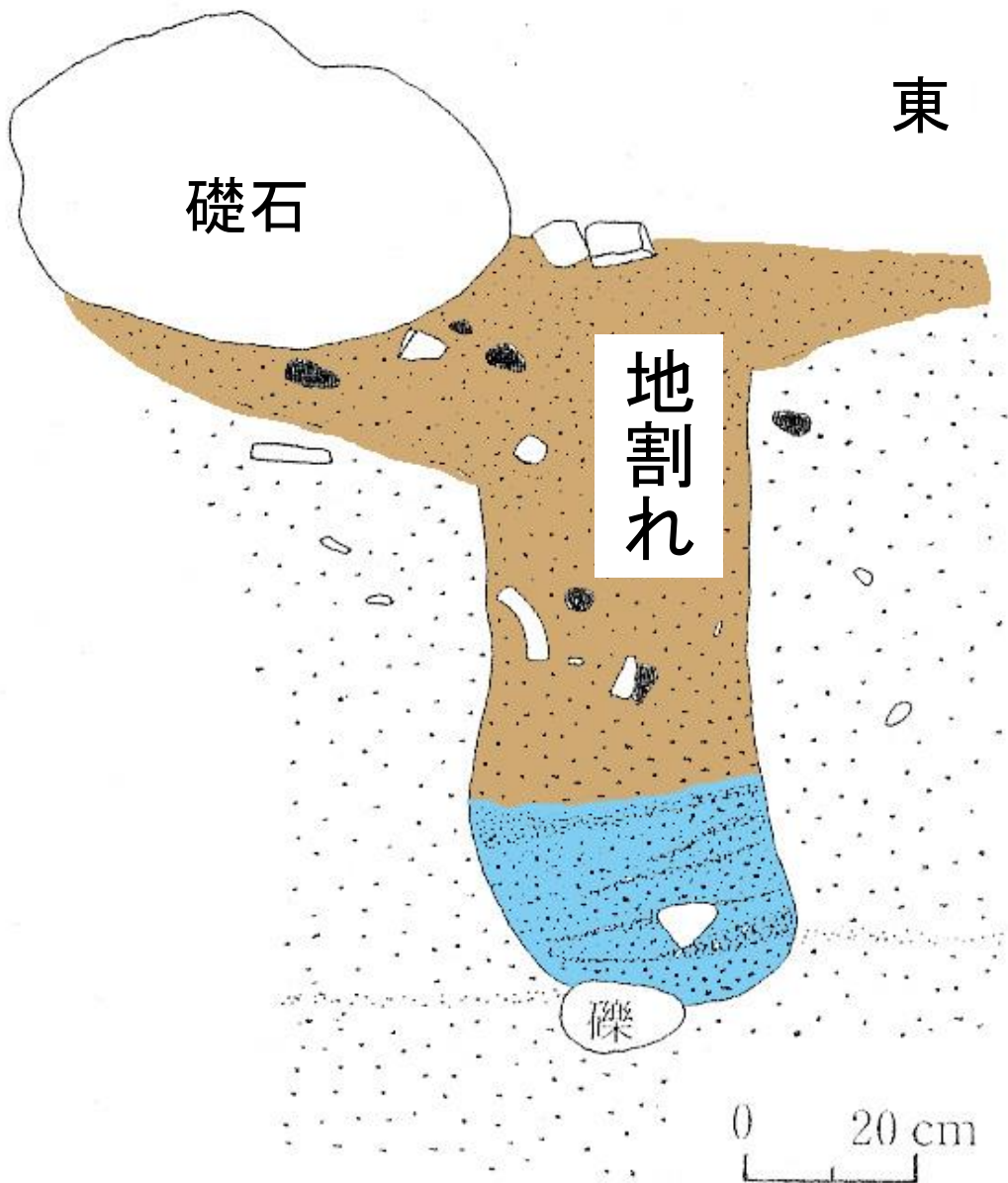


芦屋市六条遺跡の側方移動(慶長伏見地震)

伏見地震（九月五日）で廃絶

九月十日に「雨降、大風吹」（台風）の記録

（壬生孝亮や山科言経の日記）



芦屋廃寺の地割れ跡

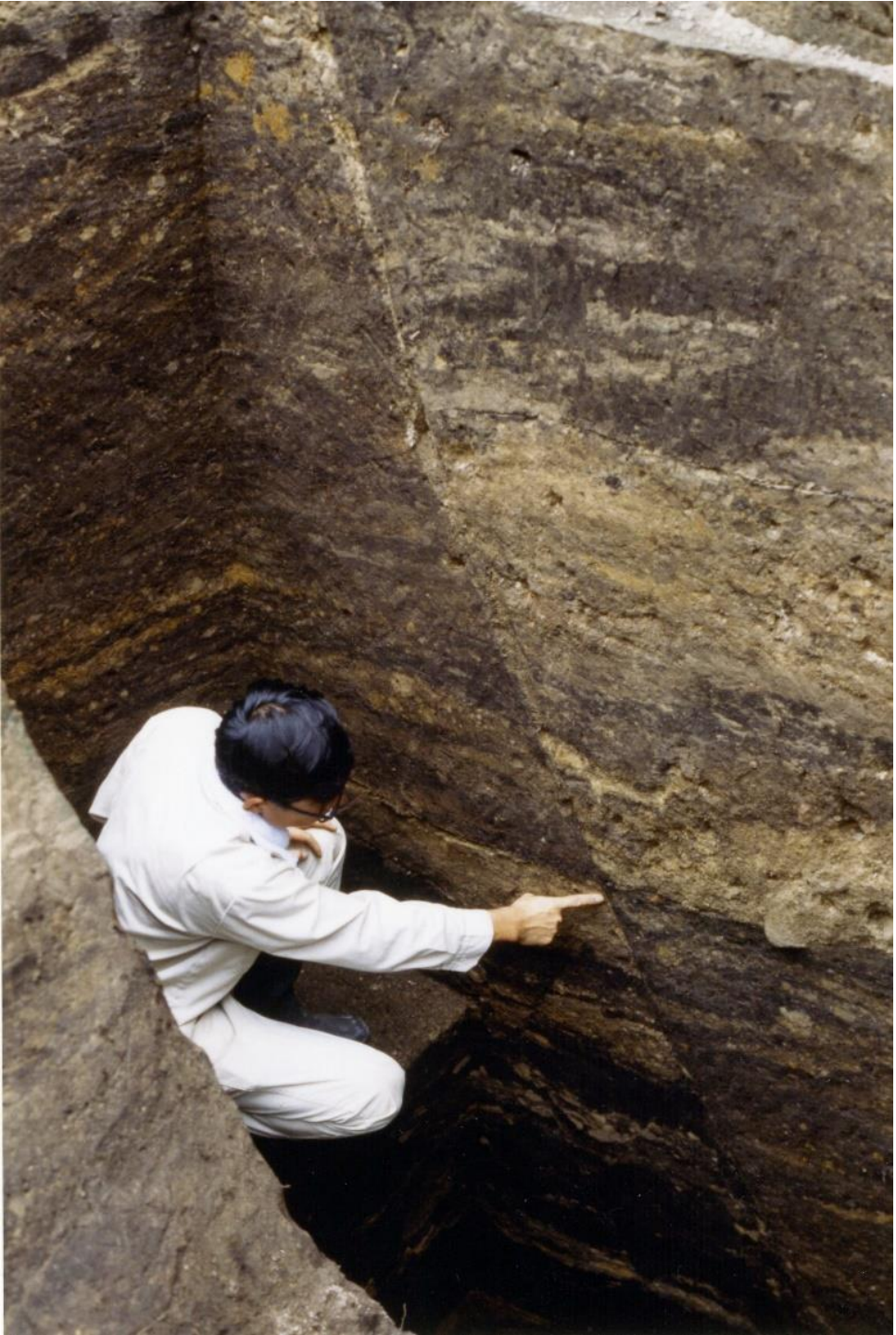


神戸市玉津田中遺跡(慶長伏見地震)



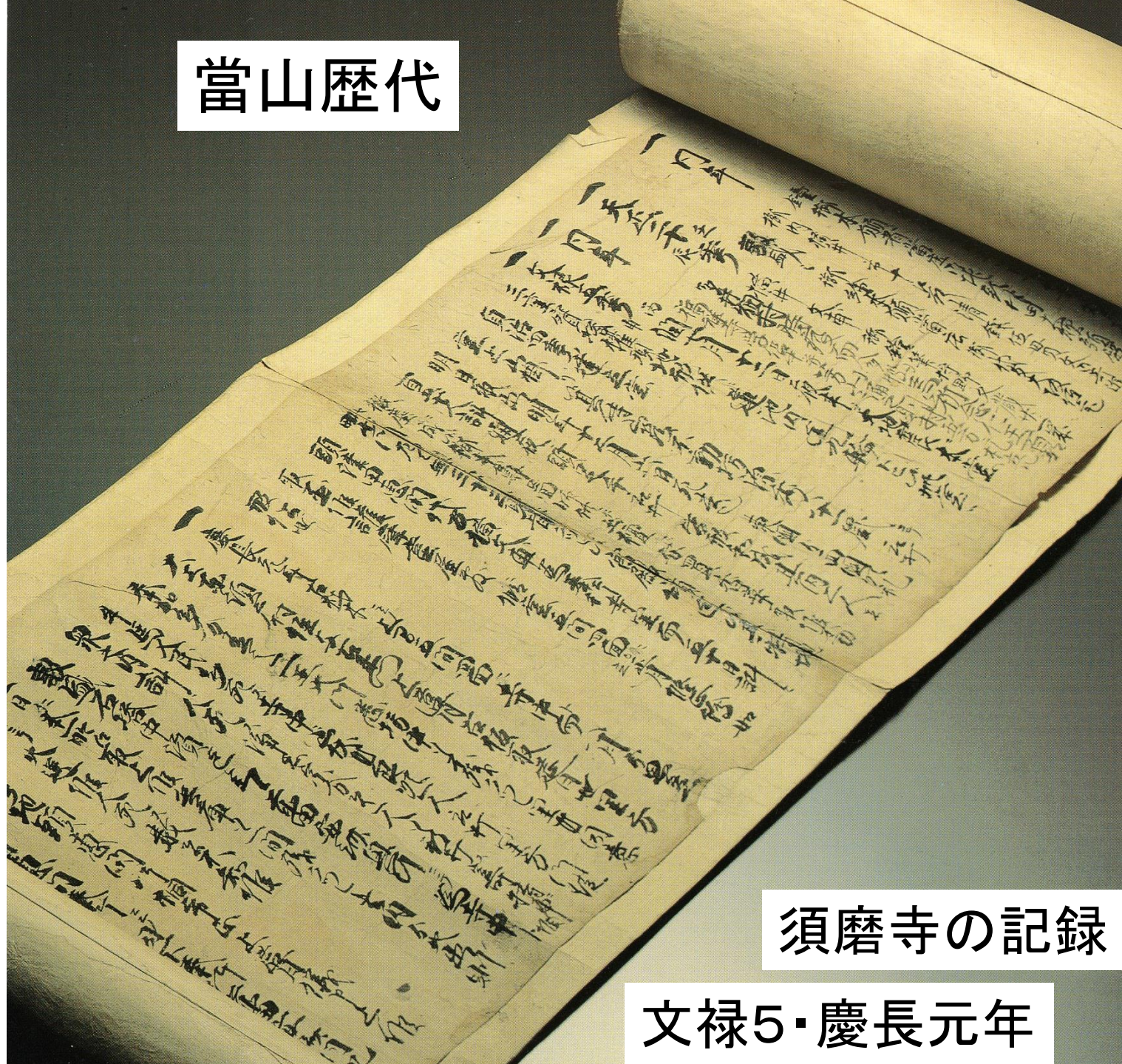
西求女塚古墳の地すべり跡(慶長伏見地震)

西求女塚古墳の地すべり跡



當山歴代

兵庫も一問残クツレ 其内より火出、
則家マテ火送候 人死ス数者不知候



須磨寺の記録

文禄5・慶長元年

言經卿記にも 兵庫在所崩了、
折節火事出来了、
悉焼了、死人不知数了」

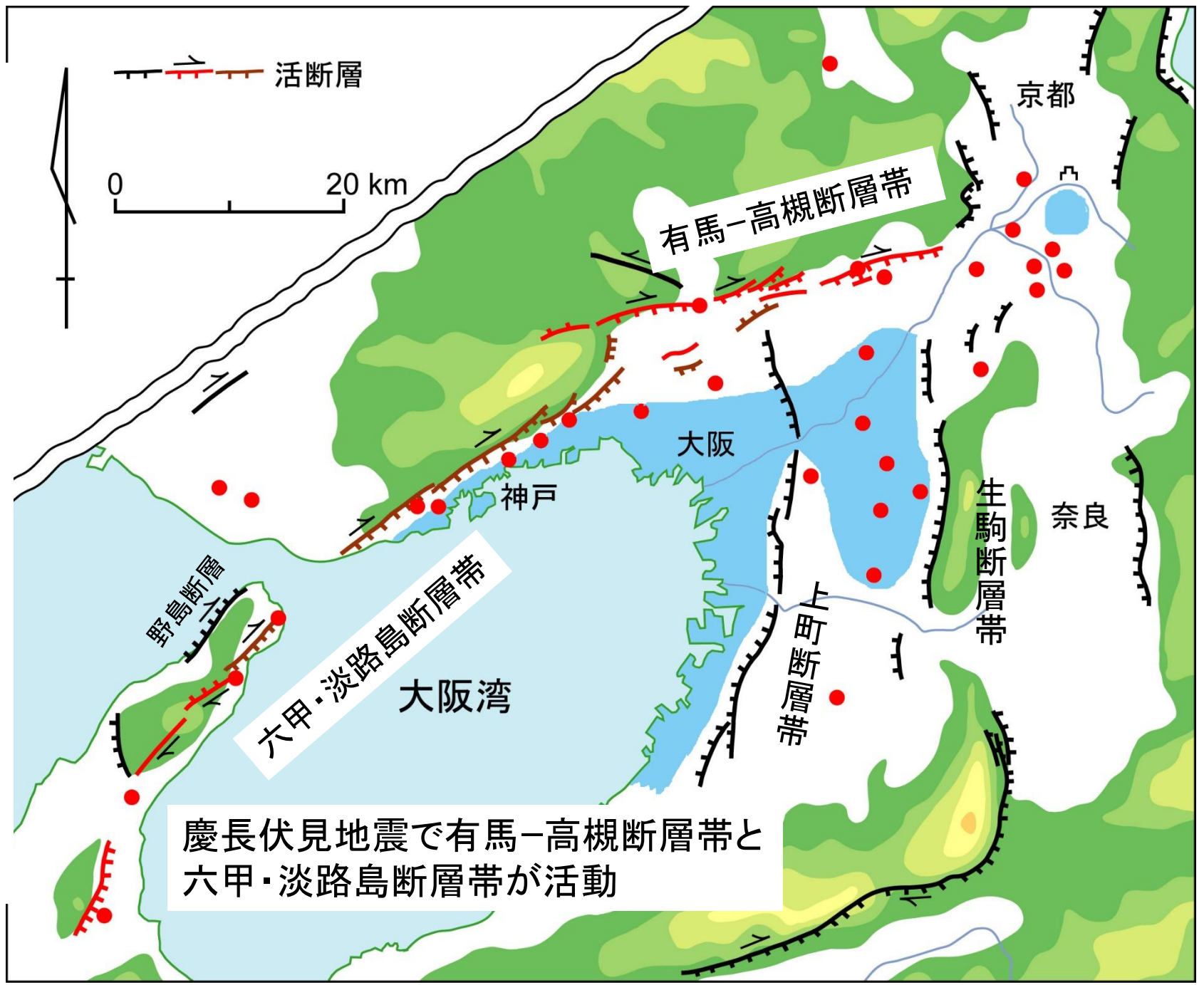


神戸市の兵庫津遺跡

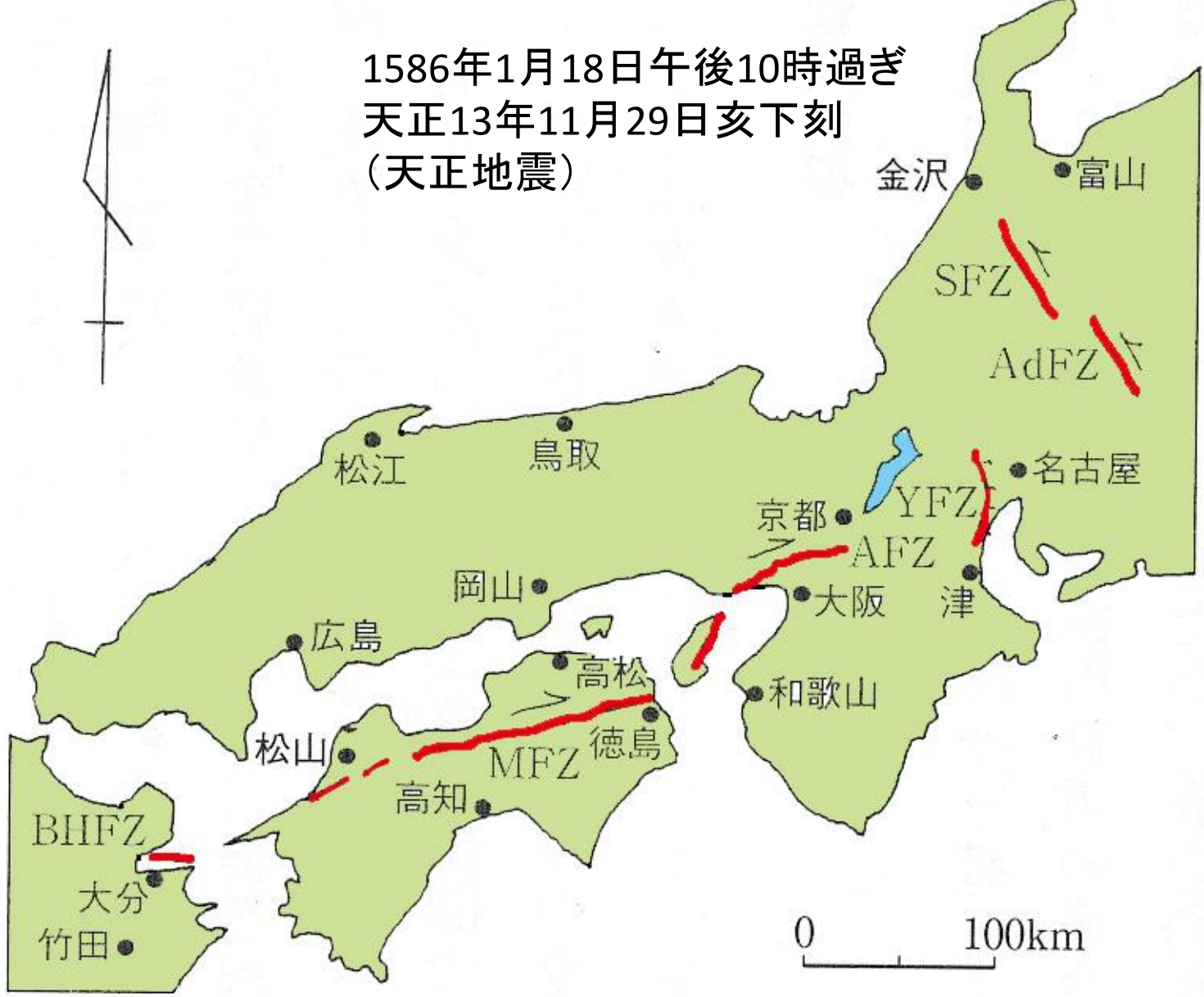


洲本市の下内膳遺跡(慶長伏見地震)

●は慶長伏見地震の痕跡が見つかった遺跡

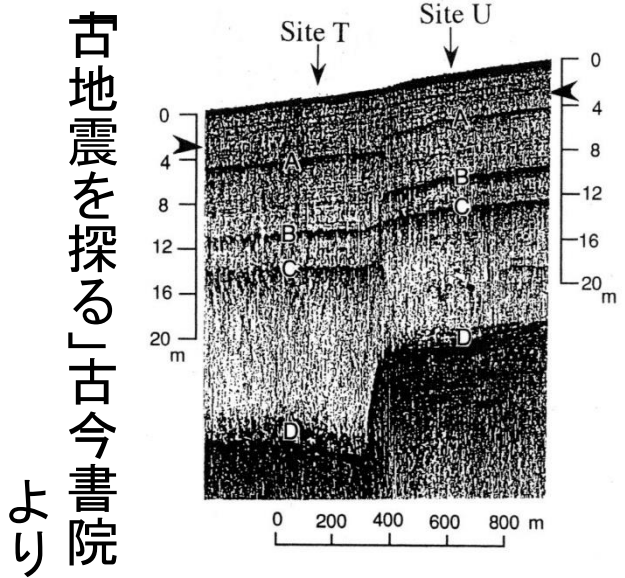
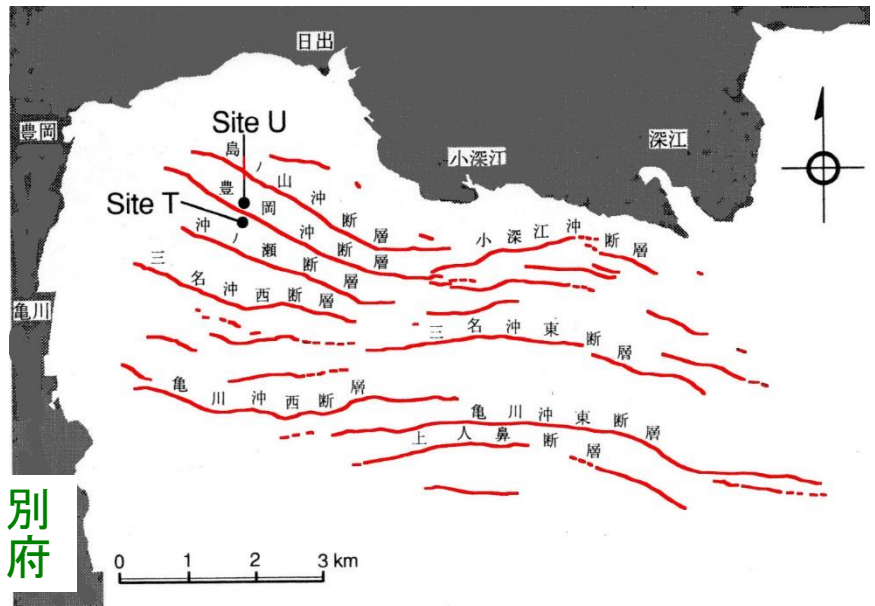


大きな活断層が次々に連動した時代

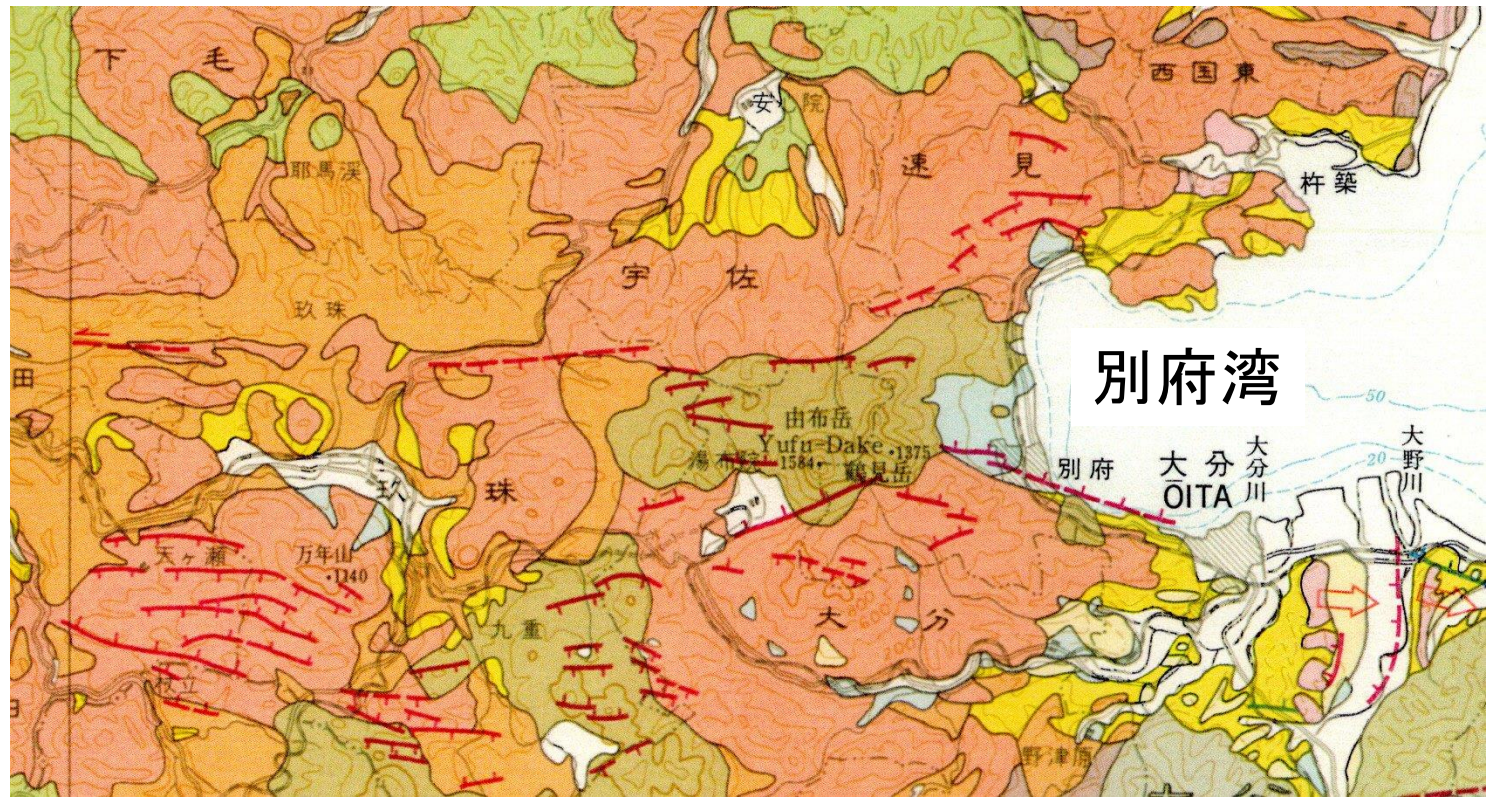


日本人はどんな大地震を経験してきたのか「平凡社新書より」

別府湾周辺の地質と海底の活断層



古地震を探る「古今書院
より



五〇万分の一活構造図 福岡「地質調査所編